

三重県入札等監視委員会 審議概要（平成28年度 第2回）

開催日及び場所	平成28年8月22日(月)10:00～12:00 JA三重健保会館 3階 大研修室	
出席委員	委員長 林 拙郎 副委員長 福島 礼子 委員 石黒 覚 委員 岩田 広子 委員 長谷部 拓哉 委員5名中5名出席	
審議対象期間	平成28年4月1日から平成28年6月30日	
抽出案件	総件数 7件	(備考)
一般競争入札	6件	
指名競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 平成28年度 第2回定例会 (平成28年8月22日)	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
<b>工事名 ①治山施設県単災害復旧事業 第四-2号工事(鎌部)〔四日市農林事務所〕</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2回目の入札はどういう理由で中止になったのか。</li> <li>・小さい工事になるとそういうことはよくあるのか。</li> <li>・防災工事だが、中止により工事が遅れても問題はないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末近くになり技術者に手持ちの工事があったのと、小規模な工事のため、あまり積極的な参加がなかったものと思われる。</li> <li>・繁忙期であればそういうことはある。</li> <li>・早く完成させたいが、予算の問題など事務手続き上、仕方がない部分はある。</li> </ul>
<b>工事名 ②三重保全二期地区 伊勢湾三期工区 伊勢湾アサリ復活プロジェクト推進事業 作滞干潟工事〔津農林水産事務所〕</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業は今後も続けられていくものなのか。</li> <li>・どのような工事内容なのか。</li> <li>・人工的に長期間かけて作った干潟は、台風等で崩れる心配はないのか。</li> <li>・こういった工事により、アサリの生育状況はどうか。</li> <li>・入札参加資格がある業者は何者あるのか。</li> <li>・入札参加者が1者となった理由はどのように考えているのか。</li> <li>・過去3年に発注した工事も、1者入札により同じ施工業者となっているが競争原理が働くような手法はないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度ごとに櫛田川上流へ向け作滞をし、四日市の先で干潟を広げていくものであり、平成33年度までの事業である。</li> <li>・滞筋を作る作滞工事を行い、そこで出た土砂を海上運搬し干潟を造成する工事である。</li> <li>・過去3年間やってきているが、流されたり壊れたりしたことはない。毎年度の工事前には形状確認もしている。</li> <li>・毎年調査をしているが、今のところはまだ明らかな成果は出ていない。引き続き調査をしていく。</li> <li>・入札参加資格要件に該当するのは27者ある。</li> <li>・海洋工事の経験が少ない業者が、参加を見合わせたことが考えられる。</li> <li>・地域要件は県内全域に拡げているが、企業要件と技術者要件については条件緩和を今後検討する。</li> </ul>
<b>工事名 ③三重保全二期地区 尾鷲工区 海女漁業等環境基盤整備事業 藻礁設置工事その5  ④三重保全二期地区 紀伊長島工区 海女漁業等環境基盤整備事業 藻礁設置工事その4  ⑤三重保全二期地区 紀南工区 海女漁業等環境基盤整備事業 藻礁設置工事その3  ⑥三重保全二期地区 熊野工区 海女漁業等環境基盤整備事業 藻礁設置工事その2  〔尾鷲農林水産事務所〕</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海底に並べるブロックは様々な形のものがあるのか。</li> <li>・③と④を比較し施工面積が小さいのに予定価格はほとんど変わらないのは、ブロックの特殊性等が考えられるからなのか。</li> <li>・4件の中で、同じ業者なのに総合評価の評価点が違うのはなぜか。</li> <li>・4件で総合評価の技術提案があるものとないものがあるがどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高さを生態に適した水深に合わせてたり、波の強さに耐えられるような形状にする必要がある。</li> <li>・適したブロックを作り施行場所まで運び沈める作業になるが、運搬距離やブロックの大きさにより影響される。</li> <li>・本店所在地によって違いが出てくる。</li> <li>・尾鷲、紀伊長島については、港湾区域内であり船の航行が多いため、現場の状況をどう認識しているか評価するため設定している。</li> </ul>

入札等監視委員会 平成28年度 第2回定例会（平成28年8月22日）	
意見・質問	回答
<p>工事名 ⑦淀川圏域（比奈知、つつじが丘、高尾）土砂災害防止法基礎調査（区域設定）業務委託 〔伊賀建設事務所〕</p>	
<p>・指名には県内業者は含まれていないのか。</p> <p>・何を基準にして指名業者を選定したのか。</p> <p>・技術的工夫が小さいとしながらも実績を求めた結果、県外業者が指名されているが、県内業者の育成も重要ではないのか。</p>	<p>・この時点では同種業務の実績を有する県内業者がいなかったため、このような指名業者になっている。</p> <p>・実績が多い者の中から、県内での業務実績数などをもとに三重県の地形地質を理解している業者を12者選定した。</p> <p>・作業はマニュアル化されているが、特別警戒区域の区域指定等を伴うため、過去の業務実績、経験を有し、土砂法の基礎調査を十分理解している者が望ましいと考えている。</p>
<p>その他</p>	
<p>・次回、平成28年度第3回入札等監視委員会の開催日は、平成28年11月21日（月）の予定とする。</p>	